

# 社会性報告

## 第3次連結中期安全計画

コスモ石油グループでは、事故や労働災害の撲滅をめざし、2005年度より製造、物流、販売の段階ごとに目標を掲げた連結中期安全計画を策定し取り組みを進めています。2010年度からの「第3次連結中期安全計画」では、第2次に引き続き「事故ゼロをめざした活動を積極的に推し進め、お客様や社会から信頼され、社員が誇れる安全・安心なコスモ石油グループを創り上げる」ことをビジョンに掲げ、安全レベルの向上を図っています。

### 第3次連結中期安全計画の2010年度の取り組み状況 ✔

※達成度：○達成 △一部達成 ×未達成

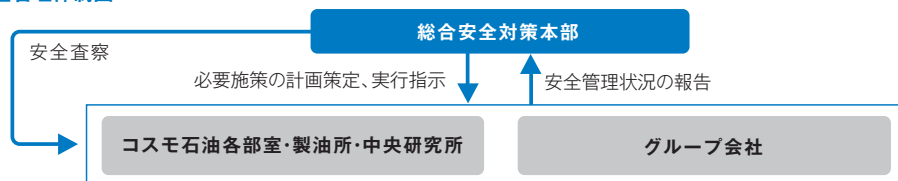
部門/対象	2010年度の目標	2010年度の実績	目標の達成度	
製造部門	4製油所およびコスモ松山石油(株)	・不安全不具合の件数を2010年にベース年比90%削減(11件以下)	・不安全不具合件数：99件(ベース年比10%削減)	×
	コスモ石油ルブリカンツ(株)(潤滑油製造)	・労働災害ゼロ ・事故・トラブルの前年比30%削減	・労働災害：0件 ・事故・トラブルの前年比同数(15件)	△
	コスモ石油ガス(株)(LPG貯蔵・配送)	・事故・トラブルゼロの継続	・事故・トラブル：0件	○
物流部門	コスモ陸運(株)(陸上輸送)	・混油事故根絶(0件) ・ヒヤリハット提出(目標：1万件)	・混油事故：2件 ・ヒヤリハット提出：約23,000件提出	△
	コスモ海運(株)(海上輸送)	・海上漏洩、座礁事故ゼロの継続 ・機器故障の基準年(2008年)比50%削減	・海上漏洩：1件、座礁事故：0件 ・機器故障の2008年比67%削減(5件)	△
	油槽所	・労働災害ゼロの継続 ・火災/漏洩事故の年平均2件未満	・労働災害：0件 ・漏洩事故：1件	○
	原油外航部	・活動施策の完遂	・安全会議を実施し、情報共有化 ・各種情報を基に都度、安全運航可否判断を実施	△
	石油製品貿易部	・船舶の動静にかかわる重大事故ゼロ	・船舶の動静にかかわる重大事故：0件	○
	販売部(SS)	・SS工事における労働災害ゼロの継続	・労働災害：0件	○
販売・その他部門	事業開発部(コージェネレーション等)	・年間平均事故数1件以下	・事故：2件	×
	研究開発部	・年間トラブル発生件数1件以下	・トラブル：2件	×
	中央研究所	・労働災害ゼロの継続 ・事故・トラブルの対前年比削減	・労働災害：0件 ・事故・トラブルの対前年比37%増加(74件)	△
	コスモエンジニアリング(株)	・ゼロ災害の実現(労働災害の確実な削減)	・労働災害の対前年比同数(31件)	×

※ベース年：2006年9月～2007年8月

## グループ横断の安全管理体制を構築

コスモ石油グループは、グループ横断の安全管理組織として「総合安全対策本部」をコスモ石油本社内に設置しています。毎年定期的開催する本部会議において安全管理に関する重要事項の調整や審議等を行い、各部門および事業所における安全計画等の実施状況を把握し、安全管理体制の充実と取り組みの徹底を図っています。

### 安全管理体制図



## 安全査察

事業所および事業所を統括する本社部門を対象とした安全査察を毎年実施しています。2010年度は4製油所を含む13事業所・部門を対象に安全査察を実施しました。特に製油所に対する査察では、社内査察員に本社のみでなく他製油所の人員を加えることで、第三者的視点からより効果の高い改善・指導を行えるよう工夫しています。

### 2010年度安全査察実施事業所/会社

コスモ石油			グループ会社	
千葉製油所	坂出製油所	物流管理部	コスモ松山石油(株)	コスモ石油ルブリカンツ(株)
四日市製油所	中央研究所	事業開発部	コスモエンジニアリング(株)	コスモ石油ガス(株)
堺製油所	販売部	研究開発部		

## 第3次連結中期人権／人事計画

コスモ石油グループは、人権と人材の多様性を尊重した職場づくりに取り組んでいます。2010年から新たにスタートした「第3次連結中期人権／人事計画」では、コスモ石油および主なグループ会社（18社）で取り組む「グループ共通テーマ」と、会社ごとの雇用労働者数に応じて取り組みが異なる「個別テーマ」に分類されます。「グループ共通テーマ」は、第2次の6テーマから「人権尊重」「多様性尊重・機会均等」「心身のヘルスケア増進」「職場と家庭の両立支援」という4テーマに絞り、取り組むこととしました。

### 第3次連結中期人権／人事計画の2010年度の取り組み状況

※達成度：○達成 △一部達成 ×未達成

テーマ		2010年度の目標	2010年度の実績	目標の達成度	
第3次連結中期人権／人事計画 グループ共通テーマ	人権尊重	ハラスメント防止、差別意識の撤廃	人権研修受講率80%以上（コスモ石油社員および出向者（ともに日勤者））	人権研修受講率：83%	○
	多様性尊重・機会均等	公正な採用を継続	障がい者雇用率の維持向上（法定1.8%以上）	障がい者雇用率：2009年度2.1%→2010年度2.2%	○
	心身のヘルスケア増進	過重労働の禁止、特定健康診断の実施	長時間勤務者の漸次削減（350時間以上/年）	長時間勤務者：359名（2009年度比▲167名）	○
	職場と家庭の両立支援	育児・介護休職推進、余暇活動支援	有給休暇取得率（日勤者） ・コスモ石油：80%以上 ・グループ会社：現状改善	・コスモ石油：78.4% ・グループ会社：対象会社18社中13社が改善	×
個別テーマ	次世代育成支援対策推進法への対応	一般事業主行動計画の策定、届け出	対象5社が策定または届け出完了	○	

## ワーク・ライフ・バランスの取り組みを推進

コスモ石油グループでは、誰もが働きやすい明るい職場づくりを進めています。特に近年では、生き方や働き方に対する多様性の尊重が重視され、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を意識した取り組みの必要性がますます高まっています。コスモ石油グループは、社員一人ひとりの価値観・人生観を尊重し、自らの希望する働き方を実現できるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮したさまざまな取り組みを推進しています。

※社員数は、出向受け入れを除いてカウントしています。

### コスモ石油社員数（2011年3月末現在）

（単位：名）

		男性	女性	合計
コスモ石油	組合員	1,470	229	1,699
	管理職	354	4	358
	シニア社員	75	3	78
	小計	1,899	236	2,135
グループ会社への出向者数	組合員	745	95	840
	管理職	286	0	286
	シニア社員	6	1	7
	小計	1,037	96	1,133
合計	2,936	332	3,268	

※コスモ石油（株）（出向者を含む）の社員を報告範囲の対象としています。

※1各年度に休職を申請した人数。  
（ ）内は各年度中に休職を取得した人数。

### 産前産後休暇・育児休職取得人数、復職支援ツール受講者数、育児休職取得率

（単位：名）

	2010年度		2009年度		2008年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
産前産後休暇取得人数	0	4	0	6	0	5
育児休職取得人数 <sup>※1</sup>	2 (2)	5 (9)	2 (2)	4 (10)	1 (1)	7 (12)
復職支援ツール受講者数	0	4	0	2	0	7
育児休職取得率	—	75%	—	100%	—	100%

## 人権尊重

人権尊重には多くの施策がありますが、第3次連結中期人権／人事計画では「ハラスメント防止および差別意識の撤廃」をテーマとし、その実現のため各事業所における人権研修を例年同様に実施することとしました。中期人権／人事計画の目標値として研修受講率80%以上を掲げていますが、2010年度の実績は83%となりました。前年度の受講者の声を参考にほかの倫理研修と同日開催にしたこと、人権研修を含めた倫理研修全体への参画意識の高まりが現れてきたことが目標達成の要因であると考えています。2011年度も、これらの研修が人権尊重に寄与するようさらなる受講率アップに努めます。

詳細情報 連結中期人権／人事計画

<http://www.cosmo-oil.co.jp/csr/social/employee.html>

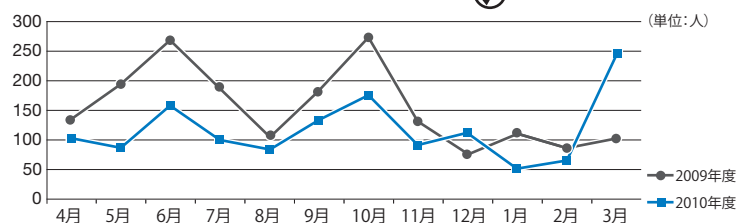
## 多様性尊重・機会均等

人材の多様性尊重と機会均等を実現する施策として「公正な雇用の継続」をテーマとし、「障がい者雇用率の維持向上」を目標としました。障がい者雇用率は、法定雇用率(1.8%以上)の達成はもちろん2009年度の2.1%から2010年度には2.2%となりました。今後も、多様な人材がそれぞれの能力を存分に発揮できる職場環境の構築をめざし、さまざまな施策を展開していきます。

## 長時間労働の削減によるヘルスケア

社員のヘルスケア増進のため、第3次連結中期人権/人事計画において過重労働の禁止・特定健康診断の実施をテーマとし、「長時間勤務者の漸次削減」に取り組んでいます。コスモ石油では、時間外労働時間の限度時間を月間、年間、それぞれの期間単位で定めていますが、2010年度実績で、年間の長時間勤務者数は359名(前年度比▲167名)に減少しました。2010年12月の中部電力による瞬電(瞬間的な電圧低下による電源障害)および2011年3月の東日本大震災によりそれぞれに該当する月には多くの超過勤務が発生しましたが、その他の月では時間管理とそれを基にした個別協議により、各部署に改善意識が徹底されました。今後も、同様の施策を継続実施していく予定です。

### 月間の時間外労働時間が所定時間を超える勤務者数



## ブランドサポート宣言

コスモ石油グループとお客様が直接触れ合う接点であるSSの機能強化を図るため、従来の“ココロも満タンに”宣言活動に加え、より具体的かつ実践的な「ブランドサポート宣言」を発信しています。

- ◎実績に裏付けられた実践的ノウハウの提供
- ◎将来を見据えた商品開発やリテール最新情報の発信
- ◎コスモブランドならではの顧客管理やSS運営をサポートするシステムの提供

この3つを柱とした具体的な取り組みを通じ、“ココロも満タンに”宣言の実行度を高め、ステークホルダーの皆様から高い評価をいただけるブランドの実現をめざします。

### 「ココロも満タンに”宣言”3つの約束

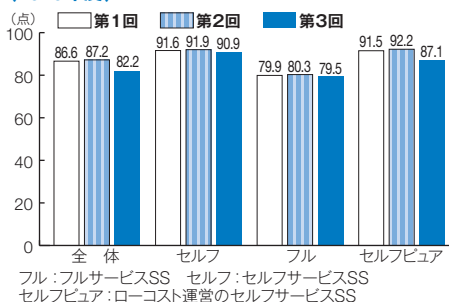
- 約束1 心地良さ** コスモステーションでは、クлинаップの行き届いた店舗で笑顔とあいさつで対応します。
- 約束2 安心感** コスモステーションでは、品質の確かな商品とサービスを提供します。
- 約束3 信頼感** コスモステーションでは、お客様からのご質問に対し、責任を持ってお答えします。



## 「3つの約束」をモニター調査

お客様との3つの約束が各SS店頭で忠実に実践されているかを確認するため、SSにおける「心地良さ」「安心感」「信頼感」をお客様目線でチェックするモニター調査を実施しており、お客様の満足度の向上に努めています。2010年度は、約1,400のSSがこの診断にエントリーしました。調査結果はSSへフィードバックし、店頭におけるサービス向上に役立てています。

### 「ココロも満タンに”宣言”3つの約束診断結果の推移 (2010年度)

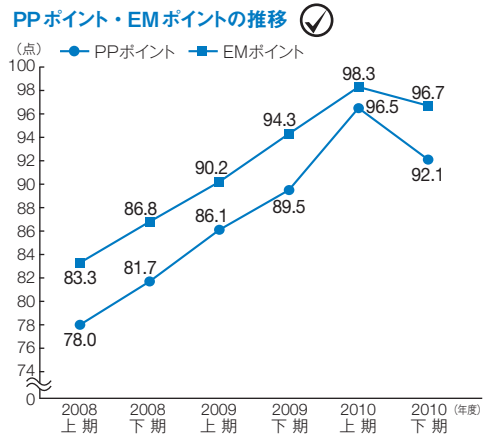


※第3回調査は、第1回、第2回の調査結果で90点に満たないなどのSSを対象に実施しています。

詳細情報 「ココロも満タンに”宣言”」  
<http://www.cosmo-oil.co.jp/ss/mantan/>

### SSにおけるCSRの現状調査

SSを取り巻く法令の遵守状況などを確認するため、CSR診断として個人情報保護(PP)調査ならびに環境管理(EM)調査を年2回実施し、その結果を基に必要な項目について改善を図っています。2010年度は約1,400のSSが参加しました。調査は100点満点の調査シートへの回答にもとづいて行われ、2010年度は、EMポイント上期98.3点で前年+8.1点、下期96.7点で前年+2.4点、PPポイント上期96.5点で前年+10.4点、下期92.1点で前年+2.6点とともに大きく改善されました。(いずれもすべてのSSの平均点)

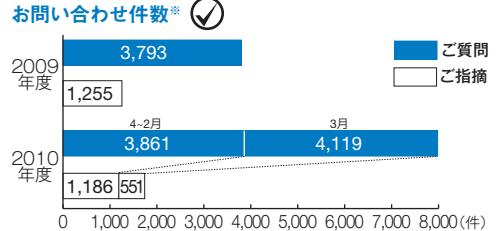


関連情報 情報管理

<http://www.cosmo-oil.co.jp/csr/social/customer.html>

### お客様サポート体制の充実

お客様との双方向コミュニケーションを目的に「コスモ石油カスタマーセンター」を開設しています。2010年10月より、電話によるお問い合わせ受付の24時間化を実施しました。寄せられたお客様の声は、サービス向上・業務改善に役立っています。



関連情報 お問い合わせ

<https://www.cosmo-oil.co.jp/contact/> フリーダイヤル 0120-530-372

※2011年3月は、東日本大震災の影響を受け、ご質問件数が4,000件以上になり、毎月の平均の10倍以上と大幅に増えました。

### 諸外国との技術交流を促進

コスモ石油海外技術協力センターは、産油国および発展途上国との技術交流を通して友好関係の維持発展に努め、相手国から高い評価をいただいています。なお、研修事業の実施に際しては、(財)国際石油交流センター(JCCP)などの助成制度も活用しています。

### 2010年度の主な活動

中東産油国およびアジア諸国への技術協力を通じた関係強化を基本方針として、2010年度は技術協力・研修事業を実施しました。技術協力事業に関しては、JCCPの「産油国石油産業等基盤整備事業」に参加し「製油所における運営方法の改善指導(オマーン)」を実施しました。研修事業に関しては、UAE、カタール、イラン、中国、ベトナム、タイの6カ国11機関に対し、受入20件、派遣4件の研修を実施しました。その他JCCP直轄研修を12件実施しました。

#### 研修事業実績

(単位:件)

対象国	対象機関	受入研修	派遣研修
中東産油国	UAE	ADNOC Distribution	1
		TAKREER	2
		HCT	1
	カタール	QP	2
		カタール大学	1
	イラン	NIORDC	1
	小計	8	2
その他産油国	ベトナム	ペトロベトナム	3
その他	中国	CNPC	3
		SINOPEC	3
		上海高橋	2
	タイ	バンチャック	1
		小計	9
合計		20	4

#### 研修プログラム

分野	件数	(中東産油国)
技術	21	(8)
販売	1	(1)
人事総務	1	(1)
潤滑油	1	(1)

#### 研修あたりの研修生人数

対象国	研修生数
中東産油国	5.4
その他産油国	11.7
その他	12.4